

安曇野市平和都市宣言の宣言文案に対するパブリックコメント（結果）

	意見（要旨）	回答
1	<p>「平和を願う人々～」の部分 「平和を願う人々と手を取り合って 核兵器も戦争もない世界をめざし 私たちは行動します」 に変えてほしい。 平和都市宣言には非核と戦争の言葉は外せない。 （同様意見外5件）</p>	
2	<p>今年で被爆から65年となる。この年に安曇野市が平和都市宣言をすることは意義のある画期的なことである。 平和の尊さを謳うためには、二度と戦争はしない、恒久平和、核兵器の廃絶が宣言文に挿入されることが重要。単に平和が言葉で語られているのではなく、日本は戦争、開拓という苦い二度と起こしてはならない経験をしている。安曇野市、市民が平和を愛し、平和のために行動し、平和を勝ち取る強い意思を示すことが大切と考える。広島市、長崎市との平和都市会議に参加している本市としての位置づけを明確にし、平和都市を高らかに宣言されることを提案する。</p>	<p>宣言文を作成するにあたり、市民の皆様（小中高校生を含む）から平和への思い等、131件のご意見をいただきました。その中には、平和を脅かすものとして核兵器や戦争だけでなく、犯罪、いじめ、差別等も含まれておりました。</p> <p>核兵器の廃絶、不戦、恒久平和という文言を入れてほしいというご意見ですが、上記の意見を踏まえて、安曇野市は非核平和宣言ということではなく、平和を脅かす全ての不安や争いを身近なところからなくすところから平和を目指すというコンセプトで作成しました。</p> <p>宣言文案の「全ての不安や争い」には、核兵器や戦争の意味が含まれておりますが、より明確にするため</p> <p>「もちろん、核兵器も戦争もない世界をめざしています。」を注釈に加えることにします。</p>
3	<p>平和都市宣言を抽象的でなく何をどうするかを明確にしてほしい。 現行の宣言（案）は安曇野市「憲章」のようなもので「平和都市宣言」とするならば「世界恒久平和実現」「核兵器の廃絶を願う」という心意気又は意志を入れるべきと思う。 （以下文案） 雄大な北アルプスの麓 自然豊かな安曇野市を 私たちは築いていきます</p> <p>子どもたちの明るい未来が いきいきと続くことを 私たちは求めていきます</p> <p>世界平和を願う人々と手を取り合って 核兵器の廃絶と戦争のない社会を作るため 私たちは行動します</p> <p>故郷 安曇野から 恒久平和な社会の実現に向け ここに「平和都市」を宣言します</p>	<p>全ての不安や争いをなくしていくことにより、平和な社会が築かれ、恒久平和につながると考えます。</p>

安曇野市平和都市宣言の宣言文案に対するパブリックコメント（結果）

4	<p>光と水と緑かがやく田園都市安曇野、この豊かな自然を守り、平和な安曇野市を築くことは、市民全ての願いであります。わが国は、世界唯一の核被爆国として、核兵器の廃絶と非核三原則の堅持を願い、この地球上で広島や長崎の悲劇は二度と繰り返してはなりません。世界の恒久平和は、人類共通の願望であります。よって安曇野市議会は、平和で豊かな田園都市を守るため、ここに平和都市宣言をする。（穂高町 平和都市推進の宣言）穂高町時代にこんなにすばらしい宣言があった。各町村にも平和都市宣言があったと思うが、どの町村でも非核三原則や、核兵器廃絶を言っていると思う。市民の声、そして3町2村の宣言を基本に入れてもう一度十分に考え、市民が納得できる宣言にして頂きたいと思いを書いた。急がずに市民の意見を基に何度でも訂正し、より一層良いものにしてほしい。</p>
5	<p>全体として、きれいな文章ではあるが、パンチ力に欠け、平和への熱望が感じられない。以下の文言を入れるよう強く求める。安曇野市民は、先の大戦の惨禍の反省にたち、ここに平和都市宣言を發します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 私たちは、平和憲法、とりわけ憲法九条を守り、後の世代に戦争をしない決意を伝えます。 2) 広島・長崎・ビキニの被爆体験にかんがみ、日本は非核三原則（持たず、作らず、持ち込ませず）を堅持し、核兵器を世界からなくすため、安曇野市民は日本と世界に呼びかけます。
6	<p>雄大な北アルプスの麓 清らかな水 自然豊かな安曇野 子どもたちのいのち輝く未来 みんなの笑顔があふれる 明るい住みよい 明日の郷土 社会の実現に向け 私たちは平和を愛するすべての人々共に 世界の恒久平和を願い 「核兵器の廃絶」と「戦争のない」 平和な社会の実現に向け 美しい故郷 安曇野から ここに「平和都市」を宣言します</p>

安曇野市平和都市宣言の宣言文案に対するパブリックコメント（結果）

7	<p>雄大な北アルプスの麓 清らかな水緑かがやく 自然豊かな安曇野を市は先人が築いた誇れるまちです健康で幸せな生活のためにみんなで支え合い 差別のない社会を私たちは築いていきます みんなの笑顔が 子どもたちの明るい未来がいきいきとした命の営みが続くことを私たちは求めています 平和を願う人々と手を取り合って世界で唯一の核被爆国として核兵器廃絶と世界の恒久平和を達成するために私たちは行動します 私たちは 美しい故郷 安曇野から平和な社会の実現に向けここに「平和都市」を宣言します</p>	
8	<p>この案では、仲良し宣言で終わっていると思う。 世界の恒久平和実現は、人類共通の願いです。 戦争を経験したわが国は、世界で唯一の核被爆国として、戦争の怖さ、惨めさ、無益さを、また、核兵器の恐ろしさを世界の人々に訴えてきました。 核兵器の廃絶と戦争のない明るい住みよいあすの郷土を願いここに「平和都市」の宣言をする。</p>	
9	<p>安曇野市には、自由と平和を願った先覚者がたくさんいた。顕彰が大事ではないか。 碌山 日露戦争を憂いて荻原十重十宛に手紙を書く。明治 38 年 清沢冽「この世界から戦争をなくすために僕の一生が捧げられなくてはならぬ」1944 年 11 月 16 日 (暗黒日記) 上原良司「明日は自由主義が一人この世から去っていきます」1945 年 5 月 11 日 陸軍特別攻撃隊員として沖縄から出撃 戦死 22 歳 (きけわだつみの声 所感) 安曇野市の第 2 次大戦での戦死者の数を入れた方が良いと思う。(穂高は 678 人) 再び戦争の惨禍を繰り返してはならない。 世界で唯一の被爆国として核兵器の廃絶と非核三原則を守ることは入れるべきと考える。 (「核兵器全面禁止・廃絶のためにヒロシマ・ナガサキからのアピール」署名は 1988 年から 89 年で住民過半数の賛同を得た地域もあった。)</p>	<p>宣言文中には先覚者や戦死者の人数等については明記しませんが、宣言後には、具体的な行動が必要と考えており、その行動の中で先覚者の活動や安曇野市における戦争時の状況についても学習できればと考えます。</p>

安曇野市平和都市宣言の宣言文案に対するパブリックコメント（結果）

10	<p>国連では日本は敵対国となっている。政府も戦後処理が従軍慰安婦や毒ガスの処理など戦後処理が進んでいないのが現状。対ソ連今のロシアに対しては、平和条約すら結んでおらず戦争状態である。そんな時安曇野市の平和都市宣言がこのような内容で良いものなのか？安曇野市民としての自分が安曇野に置くのはいやになる。</p>	<p>国連問題やロシアとの関係は、外交や国策問題であると思います。 安曇野市の平和都市宣言は、平和を脅かす全ての不安や争いを身近なところから無くしていき、そのことが平和につながるというコンセプトで作成しました。 そして、今回の宣言により市民の皆さんが平和について再確認し、行動するきっかけになればと考ました。</p>
11	<p>当然ながら平和に反対する者はいない。 しかし、私は、この「宣言」には反対である。 私自身を含め「宣言」制定後において具体的な市民活動が期待できないためである。ここでいう活動とは 種々のリスクを負って自費で行うパフォーマンスのことである。 よって、「不戦」や「非核」の文言が「宣言」にもりこまれることとなれば、なおさらのこと強い覚悟が必要となる。 尖閣の問題や、韓国への北朝鮮からの砲撃のようなケースがもし、日本で起きたなら、一市民として議員として、どのような対応をするつもりか。 ノーベル平和賞を受賞した中国の活動家に対する中国政府の人権抑圧に、抗議するよう我国の政府に安曇野市議会として意見書を提出する用意はあるのか。 こうした「宣言」制定後のことまで見すえて事を決さないことには、単なる思いつきのカッコづけに終わってしまう。 ここへ来て国際情勢は大きく変わって来た。どうせ制定するなら、今一度広く市民の同意を得て、現実的かつ具体的な「宣言」の運用規定をもあわせて制定することとして、しっかりした市民の自覚を促して真に実効性のある「宣言」にすべきだと思う。</p>	<p>ご意見のとおり何の行動も伴わない宣言では、意味がないと考えております。 この宣言が、市民の皆さんが平和について考え、行動するきっかけになるように、宣言だけでなく、それに伴う活動も計画する予定です。 「宣言」の運用規定については、現時点では考えておりません。行動計画を作成し、具体的な活動をしたいと思っております。</p>
12	<p>1 「全ての不安と争いをなくす」の部分についての提案（1）「不安」の意味について記述されている「市民の平和を脅かす核兵器、テロ、犯罪、飢餓、貧困、いじめ等に対するあらゆる不安」には、「不安」だけでは言い表せない、あるいは「不安」を超えた「恐怖」とか「絶望」、「不信」、「憎悪」等の感情もあると考える。しかし、これらの感情を一つの言葉で言い表すことが大変難しいと思われるので、「テロ、犯罪、飢餓、貧困、いじめ等」のない状態を「平和」と考える。（2）「争い」の意味について、「戦争だけでなく、宗教間の衝突、地域ごとの争い等」と記述されているが、「争い」の意味を辞書（小学館国語大辞典）でみると、「あらしうこと、いさかい、けんか、口争い、口論」となっていて、「戦争、宗教間の衝突、地域ごとの争い等」を含む非常に広い意味がある。さらに「あらしう」の意味をみると、「①自分の気持ちを通そうとして抵抗する。いやだと言って拒む。さからう。②何かをしようとして、また、何かを得ようとして、張り合う。互いに相手に勝とうとする。競争する。戦う。③自分の言い分を正しいとして、それを押し通そうとする。議論する。主張する。④わずかの時間を先行しようとする。事の成否がその時間にかかっている場合などに用いる。」とある。②～④の意味を持つ「争」を使った熟語や使い方には、次のようなものが使われている。 ②競争、争奪、紛争、闘争、上位争い、首位争い ③論争、争論、係争、抗争、政争、争議、争点 ④先を争う 等。したがって、「争いをなくす」とすると、こうした広い意味の「争い」をなくす事になってしまう。そこで、「争いをなくす」という言葉は使わない方がよいと考える。以上（1）と（2）から、「全ての『不安』と『争い』をなくす」の部分「全ての人が平和の下で生きる」とか「全ての人が平和のうちに暮らす」などとしたらいかがかと考える。</p> <p>2 「平和に反する過去に対する反省の下に」の意味が入った文言を入れてほしい現在の平和は、先の大戦をはじめ、今に続く多くの戦争や人権抑圧、恐怖や絶望を伴う過去の事実の反省の上に築かれ、今後も築かれていくものとする。私たちの現在と未来は、長い歴史の上にもみ存在する。過去に対する反省は「未来へ進む行動」の指針となるものであ</p>	<p>1 についての「不安」の解釈は、ご意見のとおりです。「争い」の解釈は、広い意味の争いがなくなることが平和であると考えます。 平和都市宣言のなかの「争い」は、相手を尊重しないことによる争いを意味しておりますので、注釈ではそれぞれ記述するように致します。</p> <p>2 については、ご意見のとおり、現在の平和は、過去の反省無しには築くことはできなかったと思っております。先の大戦や歴史について学ぶことは、行動計画の中で取り組んでいきたいと考えます。</p>

安曇野市平和都市宣言の宣言文案に対するパブリックコメント（結果）

	<p>る。1985年5月8日に西ドイツの連邦議会でワイツゼッカー大統領が行った敗戦40周年を記念する演説に次のような有名な一節がある。「過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります」 以上のことから、「平和に反する過去に対する反省の下に」ともいうべき表現をぜひ入れていただきたい。一案として、「平和を願う人々と手を取り合って」の次に挿入するのはいかがかと考える。</p>	
13	<p>このままではいけないという不安や怖れから発信するとその発信した事が、たとえ平和を唱えたものであっても不安や怖れを発信していることになる。平和な気持ちから発信するのは平和な気持ちと安心感を伝えていくことが出来る。だからこの安曇野市平和都市宣言（案）にある平和でない、今はこうでないからこうなるべきのような文章は平和都市宣言ではないと思う。平和であるならば守っていかうとは言わない。（もうすでに大切にしている）</p> <p>平和であるならば差別のない社会を築きましょうとは言わない。（差別がないのが平和な状態だから）</p> <p>平和であるならば求めることはしない。（今で充分であると知っているから）</p> <p>平和であるならば不安や争いをなくす為に行動しない。（不安や争いが無いのが平和だから）</p> <p>そして平和であるならば感謝しているはずである。自然に人に安曇野に。</p> <p>現在の安曇野市平和都市宣言は平和ではないという事を宣言しているように思う。安曇野は健康で幸せで、皆で支えあって、子供たちの笑顔が輝いていて、不安や争いのない平和で美しい街である。是非、そうであるという文章で発信して頂きたいと思う。平和であるという文章で宣言した都市は、これからの日本にとって、地球にとって素晴らしい財産になると思う。</p>	<p>安曇野市民が平和でないからこうしていきたいという考えではありません。市民が平和に暮らすためには、こうしていきたいというコンセプトで作成しました。</p> <p>このような宣言により、平和であること、平和への感謝について再確認する機会になれば、より平和な社会を築いていけるものと考えます。</p>
14	<p>新聞で宣言文を見た。</p> <p>宣言を今なぜするのか、平和とは、と考える機会となった。</p> <p>異論もあるようだが、案も良いとよいと思う。</p> <p>宣言した後は、身近なところから、それぞれが行動するよう、できるよう、意識啓発を進めてほしい。</p>	
15	<p>新聞記事を見た。</p> <p>安曇野らしく全体的に子供達にも分かりやすい文であり、平和な社会実現のために希望が持てる内容だと思う。</p> <p>この宣言が平和について改めて考えるきっかけになれば良いと思う。</p> <p>そして平和な社会の実現のために皆が参加し具体的に行動する事が大切だと考える。</p>	<p>宣言後の具体的な行動が大切だと考えております。</p> <p>ご意見は今後の具体的な行動において参考にさせていただきます。</p>
16	<p>今朝の朝刊で平和都市宣言について知った。他の市町村でされている宣言とは文体的にも内容的にも異なる斬新的な宣言文だと感じた。核兵器・戦争などという常套句は使われていないが、意志は十分伝わってきた。安曇野らしい宣言文で私は非常にいいと思う。</p>	
17	<p>ポエム的な宣言で、全国に稀に見る試みだと感心している。</p> <p>今までのものは、宣言しっぱなしで何も残らないものとなっていることからできれば、この宣言に曲を付けて平和の集い等の式典の時にみんなで歌えばより効果的だと思う。</p>	

○パブリックコメント実施期間：10月28日～11月26日

○件数：22件